

問6 (ア) 6 (イ) 4 (ウ) 6

問7 (ア) 2 (イ) 2

問8 (ア) 2 (イ) 5 (ウ) 7

【全訳】

こんにちは、私はトムです。みなさんはふつう腕時計を身につけますか。私は、私たちの学校の生徒たちにこの質問をしました。グラフ1を見てください。グラフより、現在多くの生徒が腕時計を身につけていないことがわかります。なぜかわかりますか。私は彼らにその理由も聞きました。グラフ2を見てください。70%以上の生徒が、携帯電話で時刻がわかるので、腕時計を身につけていないと言っています。20%近い生徒が、

「肌に金属や革が接している感じが好きでないので、腕時計を身につけない」と述べています。6%の生徒は、時刻を確認することさえしません。(ア)~(C)しかし、私は腕時計を身につけます。なぜだかみなさんにお話ししましょう。

現在私は2つの腕時計を持っています。1つは私の祖父の腕時計でした。この前の夏に祖父を訪ねた際、祖父が私にくれました。それは本当に美しい腕時計です。その腕時計を見るといつも祖父のことを思い出すので、それは私の宝物になっています。

会話中に携帯電話を取り出すことが、私にはよいことである

とは思えません。(ア)~(B)それは、その人が話し手の話を聞いていないことを表します。時刻を携帯電話で確認する際、Eメールやウェブサイトを確認するというような、ほかのことをしばしば行いますね。それは時間を有効に使うことになりません。腕時計を見ることで、あなたの注意が奪われることはありません。

(ア)~(A)とてもすてきで、芸術作品のように見える腕時計もあります。私はそのような美しいものを見ると気分がよいです。そしてまた、腕時計は人の個性や好みをほかの人に示しめます。

最後に、腕時計は携帯電話ほど頻繁に充電する必要があります。私の腕時計の1つには太陽電池がついています。壊れなければ、(イ)全く充電をする必要がありません！

腕時計を身につけることに関する私の話について、どう思いますか。

グラフ1 あなたはふつう腕時計を身につけていますか。
37%…はい 63%…いいえ

グラフ2 腕時計を身につけない理由
73%…携帯電話を使う 19%…気持ちよくない
6%…時刻を確認しない 2%…その他の理由

【全訳】

メイ、トモ、ダイと、留学生のピーターが、英字学校新聞について話をしています。彼らは同級生です。

メイ：あなたたちに話をしたように、私は英字学校新聞を始めたの。ピーターが私たちに力を貸してくれるわ。

ピーター：やあ、みんな。きみたちに仲間入りできてうれしいよ。このメモを見て。ほくはインターネットでこれを見つけたんだ。これがきみたちの手助けになるといいな。まず、ほくたちは先生と場所を見つける必要があるね。

メモ 学校新聞の始め方

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 先生を見つける | 2 場所を見つける |
| 3 内容を決める | 4 計画する |

トモ：ほくたちの英語の先生、ワダ先生はどうか？

メイ：それはよい考えね、トモ。ピーターとワダ先生が私たちの英語を確認してくれるわね。あっ、思い出した！ 私たちはお金について考える必要もあるわね。

ダイ：本当だね、メイ。ほくたちは新聞を作るのに印刷会社を探す必要があるね。どうやってそれを探そうか？

トモ：ワダ先生なら、そのことについてよい考えがあるかもしれないね。

メイ：わかったわ。先生のところへ行行って、そのことについて話してみるわ。次に、どの部屋を使おうかしら？

トモ：たぶん、ほくたちの教室は使えるね。

ピーター：ちょっと待って。記事を書くのにコンピュータが必要だよ。

メイ：そうね。コンピュータールームがいいわね。

ダイ：ピーター、このメモの3番って何？

ピーター：新聞の内容だよ。それで、ほくたちは何について書くのか？

トモ：見て！ ここにサクラ高校新聞があるよ。ほくたちの学校新聞についてのアイデアが浮かぶといいのだけれど。

メイ：よくやったわ。トモ。先月私たちは修学旅行へ行っったわ

ね。そして来月は文化祭があるわ。それらについていい話が聞けるわね。

ピーター：これは何、メイ？

メイ：「特集」はfeature、あるいはspecial article(特別な記事)よ、ピーター。

ピーター：それじゃ、そこには何が来るのかな？

トモ：ほくらの学校のクラブやチームについて書くのはどう？

ダイ：それはおもしろいよ、トモ。各クラブまたはチームにほくたちから質問することができるね。

メイ：すべてのクラブやチームについて書くことは無理じゃないかしら。今回は文化祭から始めましょう。トモ、その箇所を担当してね。

トモ：娯楽についてはどうしよう？

ピーター：本についてはどう？

ダイ：図書館で本に関するしっかりとしたレポートを見ることができるから、それはおもしろくないんじゃないかな。何かほかのことをしようよ。

メイ：そうね。MINATO BANDに関して書くのはどうか？ この秋に私たちの市に来るのよ。私たちの学校の多くの生徒が彼らの音楽が好きでしょ。私が彼らについて書くわ。さて、あとは編集後記だけね。

ピーター：それは何？

メイ：それはpostscript(あとがき)、新聞を終わらせるための一言よ。

ピーター：あのう、ほくはここに来て1か月たつよ。日本についてほくの感想を書いてもいいかなあ？

メイ、トモ、ダイ：いいね。

ダイ：次に、計画について話そう。どのくらいの間隔でほくたちの新聞を書くつもり、メイ？

メイ：各季節に一度はどうかしら？

ピーター：それでいいね。最初の新聞が完成するまで毎週集まろうか？

メイ、トモ、ダイ：もちろん！